

### 滝沢市民マラソン 開催の考えは



柳村 一議員

開催は考えていません

**問** 市制移行の認知度向上とスポーツ振興のために、市民マラソン大会は有意義だと思いが、開催の考えを伺います。

**答** 12年まで10年間「チャグチャグ馬コ」のマラソン大会を開催しましたが、出場者の減少や交通安全対策の問題、主催者が撤退したことでやめました。

**問** 岩手山とその周辺を今後どのように活用し、整備するのか考えを伺います。

**答** ①今年度の岩手山の登

業を行います。滝の沢や里山は地権者の理解と協力が必要であり、活用は困難です。

④網張ビジターセンター及び、たきざわ自然情報センターと連携し、自然観光の振興を図ります。岩手山ビジターセンターを整備する考えはありません。

**I・GRとJ・Rの駅舎利用の考えは**

**問** 様々な人が集まる駅舎を情報発信の場として利用する考えは。

**答** 菓子駅、滝沢駅、大釜駅、小岩井駅の4駅があります。

各駅の実態に合った情報発信の方法を調査研究し、利用者や地域、鉄道業者と協議し検討します。

### 分団への消防自動車の 配車計画は



斉藤 健二議員

2年後には全て新型車  
輛に更新の予定

**問** 既に25年以上経過している車輛があります。今後の車輛配車計画を伺います。

**答** 27年度で全て新型車輛に更新されます。今後とも消防資材の整備に努め、住民の生命と財産を守る防災防火体制の充実強化に努めます。

**問** 各地域ごとの詳細な防災マップが必要と思いますが、今後の対応を伺います。

**答** 地域の状況に合った防災マップが、必要と考えています。

各自主防災会と調整を図り、住民との協働で、より身近な防災マップの作成に努めます。

プの作成に努めます。

**問** 消防団員の高齢化による団員の不足が考えられますが、充足率と今後の対応策を伺います。

**答** 15年に消防団員数の充足のため定年制を廃止しました。女性消防団員の任用や、役場職員で構成される十一分団が設立され充足率は現在、85・5%となっています。

各種イベントで消防団員募集のチラシ配布など、広報活動で団員確保に努めています。

**問** 市制に向けて史跡や郷土芸能など有形無形の文化財や地域の宝を見直し、指定文化財に指定できるか伺います。



ます。

**答** 本村には指定文化財が、国・県・村を含めて21件あります。歴史に培われた郷土の遺産である貴重な文化財を後世に引き継ぎ、保存していくことが極めて重要と捉えています。

今後、文化財の掘り起しに努め、価値が認められ継続性が図られるものについては、新たな指定文化財に向け検討していきます。

### 再生可能エネルギー 事業の推進は

庁舎屋上に太陽光発電を  
年度内に設置



しののめ会

熊谷 初男議員

**問** 再生可能エネルギー事業の取り組み状況と具体的に検討している事業はあるか。

**答** 再生可能エネルギー事業の取り組み状況と具体的に検討している事業はあるか。

現在、震災による原発事故から電力供給の状況を見ると、先の読めない状況です。しかし、各家庭の生活スタイルを見た場合に電力不足が危惧されます。

今後、住民の節電意識の高揚をいかに図るかが課題です。今年も異常気象による大災害が発生しました。本村は、秀峰岩手山のすそ野に広がる大

自然の財産を保有することから、自然環境を愛する滝沢市に生まれ変わるため、自然エネルギーを活用する事業の推進が必要です。

**問** 再生可能エネルギー事業の取り組み状況と具体的に検討している事業はあるか。

**答** 再生可能エネルギー事業の取り組み状況と具体的に検討している事業はあるか。

**答** 役場庁舎に太陽光発電及び蓄電池を今年度に設置します。また、27年度は、小学校2校と交流拠点複合施設にも設置を予定しています。

**問** 再生可能エネルギー事業推進のため、専門チームを設置する考えは。

**答** 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入支援策を検討して行くこととし、他団体の事例を研究しながら検討します。

**問** 省エネルギーシステム、各種発電システムを採用する住民に対する村独自の助成制度の考えは。

**答** 省エネルギーシステム、各種発電システムを採用する住民に対する村独自の助成制度の考えは。

**答** 国の補助制度はありますが、村独自の助成制度について、導入支援策とともに今後研究します。

**教育振興の考えは**

**問** 地域及び通学途中の安全教育をどの様に指導して行くか。

**答** 毎年、年度始めに警察等や保護者の皆さんの協力で実施しています。年間10数回の開催となっております。

**選手派遣費用の対応は**

**問** 各種大会への選手派遣費用借置の迅速な対応は。

**答** 今年度は、各学校ともめざましい活躍でした。小中文化体育連盟を通じて旅費の9割を補助しています。

今後は、選手派遣の時期と乖離が生じないよう措置します。

### 健康診断で確認した 認知症患者の人数は

健康チェックリストで  
24年度473人



しののめ会

武田 哲議員

**問** 健康チェックリストで確認した認知症の方は、23年

**答** ①高齢者健康福祉計画などの計画に基づき、住民の健康づくりに取り組んでいます。健康チェックリストで確認した認知症の方は、23年

**問** 現在、4人に1人が認知症になると言われています。

高齢者の健康意識向上策として、健康寿命に着目した対策を取るため、次のことについて伺います。

①健康寿命の対策と状況は。

②いきいきサロンの活かし方は。

③産学官連携で認知症、パーキンソン病の健康チェックリストの作成は。

**答** ①高齢者健康福祉計画などの計画に基づき、住民の健康づくりに取り組んでいます。健康チェックリストで確認した認知症の方は、23年

②現在、27自治会でいきいきサロンが展開され、交流のほか、地域の力で支えるなど、これからの互助のためにも、ますます重要になっていくと考えます。

**問** 8月9日の豪雨では本村でも多くの被害

を受けました。地球温暖化のため、ゲリラ豪雨が起るなど、環境の変化にさらされています。そこで、今後の治水対策について伺います。

①大雨の度に浸水などの被害を受ける地域の改善策は。

②大釜地区の土日ジャンボ市周辺の浸水対策は。

**答** ①越前堰水路を含む4河川について改修の対応や検討をしています。

②増水時の効果的な対応策を検討、実施しながら、今後、原因を詳細に調査し、関係機関と対応を検討します。